

第3次たかまつ男女共同参画プラン 評価指標実績値一覧表

資料1

基本目標	主 要 プラン	施策の 基本的方向	評価指標	基準値 (22年度)	24年度 実績値	2 4 年度達成率 (%)	24年度 評価	25年度 実績値	2 5 年度達成率 (%)	25年度 評価	第3次プラン 目標値 (27年度)	推進担当課
I 男女共同 参画の意識づ くり	1 男女共同 参画に向けた意 識改革	(1) 男女共同 参画の意識づ くりの推進	「男は仕事、女は家庭」という 考え方に同感する市民意識 の割合	44.4%	なし (次回調査実施が26 年度のため)			なし (次回調査実施が26 年度のため)			35.0%	政策課男女共 同参画推進室
			「男女共同参画社会」という用 語の認知度	69.7%	なし (次回調査実施が26 年度のため)			なし (次回調査実施が26 年度のため)			100%	政策課男女共 同参画推進室
		(2) 男女共同 参画に関する 広報・啓発活 動の推進	男女共同参画センター(愛称: サンフリー高松)のホームペー ジへのアクセス	27,456件	37,224件	1535.8%	A	35,483件	631.1%	A	30,000件	政策課男女共 同参画推進室
			男女共同参画センター(愛称: サンフリー高松)の図書・ビデ オ・DVD貸出件数	図書451冊 ビデオ・DVD 15本	図書473冊 ビデオ・DVD 4本	図書 179.6% DVD -880.0%	図書 A DVD D	図書620冊 ビデオ・DVD 4本	図書 689.8% DVD -440.0%	図書 A DVD D	図書500冊 ビデオ・DVD 20本	政策課男女共 同参画推進室
	2 多様な選択 を可能にする 教育・学習の 充実	(1) 男女平等 を推進する教 育・学習	男女平等教育の研修会を受 講した教員数	年間72人	年間70人			年間125人			延べ280人 (平成24年度から の累計)	学校教育課
		(2) 多様な選 択を可能にする 教育・学習 機会の充実	男女共同参画に関する講座・ セミナーの参加者数	3,835人	2793人	-1044.7%	D	2,891人	-834.0%	D	4,000人	政策課男女共 同参画推進室
				5,371人	5,384人			4,672人			5,600人	生涯学習課生 涯学習セン ター
		(2) 多様な選 択を可能にする 教育・学習 機会の充実	男女共同参画に関する講座・ セミナーの男性参加者の割合	33.0%	20.8%	-697.1%	D	14.5%	-528.6%	D	40.0%	政策課男女共 同参画推進室
			共催・後援による男女共同参 画に関する講座数	7回	7回	0.0%	C	13回	400.0%	A	10回	政策課男女共 同参画推進室

評価指標から見た取組状況の評価基準については、次のとおりです。

達成率算出方法
$$\frac{\text{当該年度実績値} - \text{平成22年度基準値}}{\text{平成24年度} \dots (\text{平成27年度目標値} - \text{平成22年度基準値}) \div 4 (\text{計画年度}) \times 1 (\text{経過年数})}$$

平成24年度…

平成25年度…

評価基準

達成率100%以上のものを「A」、50%以上100%未満を「B」、0%以上50%未満を「C」、0%未満（マイナス）を「D」としており、統計の調査年度の関係等で評価ができないものを「/」としています。

第3次たかまつ男女共同参画プラン 評価指標実績値一覧表

資料1

基本目標	主 要 プラン	施策の 基本的方向	評価指標	基準値 (22年度)	24年度 実績値	2 4 年度達成率 (%)	24年度 評価	25年度 実績値	2 5 年度達成率 (%)	25年度 評価	第3次プラン 目標値 (27年度)	推進担当課
Ⅱ あらゆる分野への男女共同参画の促進	3 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	(1) 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	女性委員のいない審議会等の割合	19.2%	4.1%	656.5%	A	4.0%	330.4%	A	10.0%	政策課男女共同参画推進室
			審議会等における女性委員の割合	32.3%	36.2%	202.6%	A	38.0%	148.1%	A	40.0%	政策課男女共同参画推進室
			市職員の女性管理職の割合	12.2%	15.6%	485.7%	A	16.5%	307.1%	A	15.0%	人事課
	4 地域における身近な男女共同参画の促進	(1) 地域における男女共同参画の促進	「地域社会では男性優位になっている」と思う市民意識の割合	34.9%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			25.0%	政策課男女共同参画推進室
			「家庭生活では男性優位になっている」と思う市民意識の割合	64.2%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			50.0%	政策課男女共同参画推進室
			地域コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合(4月1日現在)	18.9%	19.6%	17.4%	C	17.9%	-12.4%	D	35.0%	地域政策課
	5 国際的視点に立った男女共同参画の推進	(1) 国際交流・協力における男女共同参画の推進	国際理解・交流に関する講座等の参加者数	554人	735人	236.6%	A	749人	127.5%	A	860人	観光交流課都市交流室
			国際交流ボランティア登録者数	166人	171人	31.3%	C	169人	9.4%	C	230人	観光交流課都市交流室

第3次たかまつ男女共同参画プラン 評価指標実績値一覧表

資料1

基本目標	主 要 プラン	施策の 基本的方向	評価指標	基準値 (22年度)	24年度 実績値	2 4 年度達成率 (%)	24年度 評価	25年度 実績値	2 5 年度達成率 (%)	25年度 評価	第3次プラン 目標値 (27年度)	推進担当課
Ⅲ 男女が共にいきいきと働き続け、安心して生活できる環境づくり	6 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	(1) 仕事と生活の調和の実現	「ワーク・ライフ・バランス」という用語の認知度	60.3%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			75.0%	政策課男女共同参画推進室
		(2) 仕事と生活の調和を推進するための環境づくり	全認可保育所の入所児童数	8,866人	9,247人	4482.4%	A	9,378人	3011.8%	A	8,900人	こども園運営課
			乳児保育	63か所	67か所	400.0%	A	67か所	200.0%	A	67か所	こども園運営課
			延長保育	57か所	62か所	500.0%	A	62か所	250.0%	A	61か所	こども園運営課
			一時保育	29か所	28か所	-400.0%	D	29か所	0.0%	C	30か所	こども園運営課
			病児・病後児保育	5か所	5か所	0.0%	C	5か所	0.0%	C	6か所	子育て支援課
			留守家庭児童会(定員)	2,360人	3,060人	145.5%	A	3,140人	145.5%	A	3,200人	子育て支援課
			放課後児童クラブ(定員)	620人								子育て支援課
			学童保育(平均利用児童数)	157人	174人	523.1%	A	191人	523.1%	A	170人	子育て支援課
		(3) 家庭生活への男女共同参画の促進	家事をしない(ほとんどしない、まったくしない)男性の割合	①掃除 33.1% ②洗濯 58.6% ③食事の支度 58.4% ④食事の片付け 45.4%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			①掃除 20.0% ②洗濯 40.0% ③食事の支度 40.0% ④食事の片付け 40.0%	政策課男女共同参画推進室
			市男性職員の育児休業取得率	2.0%	2.1%	5.0%	C	3.1%	27.5%	C	10.0%	人事課

第3次たかまつ男女共同参画プラン 評価指標実績値一覧表

資料1

基本目標	主 要 プラン	施策の 基本的方向	評価指標	基準値 (22年度)	24年度 実績値	2 4 年度達成率 (%)	24年度 評価	25年度 実績値	2 5 年度達成率 (%)	25年度 評価	第3次プラン 目標値 (27年度)	推進担当課
Ⅲ 男女が共にいきいきと働き続け、安心して生活できる環境づくり	6 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進	(3) 家庭生活への男女共同参画の促進	託児付きのイベント・セミナーの開催数	37講座	44講座	654.5%	A	40講座	36.4%	C	40講座	政策課男女共同参画推進室
				15講座	24講座			12講座			20講座	文化芸術振興課
				3講座	5講座			5講座			6講座	生涯学習課生涯学習センター
			育児セミナー等の男性参加者の割合	45.1%	44.8%	-24.5%	D	45.1%	0.0%	C	50.0%	保健センター
	7 子育て・介護支援の充実	(1) 子育て家庭に向けた子育て支援策の充実	地域子育て推進事業(育児相談、子育ての情報提供、子育てサークル等の支援)	41か所	40か所	-44.4%	D	39か所	-44.4%	D	50か所	こども園運営課
			地域子育て支援センター事業	2か所	2か所	266.7%	A	2か所	133.3%	A	2か所	子育て支援課
				17か所	19か所			19か所			20か所	こども園運営課
		(2) 多様なライフスタイルに対応した介護支援策の充実	訪問介護回数	年間延べ644,781回	年間延べ722,910回	239.1%	A	年間延べ766,684回	186.5%	A	年間延べ775,500回	介護保険課
	8 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保	(1) 雇用等の分野における男女の均等な機会と待遇の確保対策の推進	「職場では男性優位になっている」と思う市民意識の割合	68.7%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			50.0%	政策課男女共同参画推進室
			職場の中で女性について「能力を生かせる機会や配置転換が少ない」と感じる市民意識の割合	52.6%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			40.0%	政策課男女共同参画推進室
			市職員の男女の職域	-	-			-			拡大	人事課
		(2) 多様な生き方、多様な能力の発揮を可能にするための支援	30歳以上の中途採用・出産・介護等による退職者の再雇用等を取り入れている事業所の割合	①中途採用40.3% ②再雇用14.3%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			①中途採用50.0% ②再雇用25.0%	政策課男女共同参画推進室
	9 高齢者・障がい者等が安心して暮らせる環境づくり	(1) 高齢者・障がい者等が安心して暮らせる環境づくり	シルバー人材センター会員数	2,103人	1,972人	-37.5%	D	1,872人	-33.1%	D	3,500人	長寿福祉課
			介護予防教室の参加者数のうち、男性の参加割合	18.1%	24.4%	365.2%	A	23.3%	150.7%	A	25.0%	保健センター

第3次たかまつ男女共同参画プラン 評価指標実績値一覧表

資料1

基本目標	主 要 プラン	施策の 基本的方向	評価指標	基準値 (22年度)	24年度 実績値	2 4 年度達成率 (%)	24年度 評価	25年度 実績値	2 5 年度達成率 (%)	25年度 評価	第3次プラン 目標値 (27年度)	推進担当課
IV 男女の人権が尊重される社会づくり	10 人権尊重の意識づくり	(1) 男女の人権尊重の啓発活動の推進	人権啓発のためのセミナー等の参加者数	1,308人	1,308人	0.0%	C	1,455人	153.1%	A	1,500人	人権啓発課
			男女共同参画週間における啓発事業の参加者数	154人	179人	217.4%	A	174人	87.0%	B	200人	政策課男女共同参画推進室
	11 女性に対するあらゆる暴力の根絶	(1) 女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり	配偶者からの暴力には、身体に対する暴力だけではなく、精神的暴力、性的暴力も含まれることについての認知度	67.2%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			80.0%	政策課男女共同参画推進室
		(2) 相談体制の充実	配偶者からの暴力の相談窓口があることについての認知度	28.1%	なし (次回調査実施が26年度のため)			なし (次回調査実施が26年度のため)			50.0%	政策課男女共同参画推進室
		(3) 被害者等の保護および自立支援	シェルターの設置	0か所	0か所	0.0%	C	0か所	0.0%	C	1か所	政策課男女共同参画推進室 子育て支援課 こども女性相談室
				0か所	0か所			0か所				
	12 生涯を通じた男女の健康づくり	(1) 男女の健康の保持増進	1歳6か月児健康診査受診率	89.4%	89.6%	14.3%	C	90.4%	35.7%	C	95.0%	保健センター
			3歳児健康診査受診率	83.6%	83.2%	-25.0%	D	84.5%	28.1%	C	90.0%	保健センター
			子宮がん検診の受診率	31.1%	32.2%	23.3%	C	28.7%	-25.4%	D	50.0%	保健センター
			乳がん検診の受診率	28.9%	29.2%	5.7%	C	27.6%	-12.3%	D	50.0%	保健センター
		(2) 妊娠・出産等に関する健康支援	妊婦・乳児健診受診票利用率	78.7%	85.1%	406.3%	A	78.9%	6.3%	C	85.0%	保健センター
			妊婦歯科健康診査受診率	33.7%	38.9%	630.3%	A	39.7%	363.6%	A	37.0%	保健センター

(4)次期たかまつ男女共同参画プランの策定について

- 現行の第3次たかまつ男女共同参画プランの計画期間が平成27年度までとなっていることから、28年度を始期とする「次期たかまつ男女共同参画プラン」の策定に向けて、作業を行うもの
- 26年度は策定に当たっての基礎資料とするため、男女共同参画に関する市民生活意識調査、事業所実態調査、市民団体等実態調査を実施する。

ア 次期たかまつ男女共同参画プラン策定スケジュールについて・・・資料3参照

策定に当たっての留意点①

1 国の次期基本計画との整合性について

・国の次期基本計画の策定スケジュール(想定)

平成27年 4月～5月・・・諮問に対する中間整理

同年 7月～8月・・・答申

同年12月・・・・・・閣議決定

⇒素案作成段階においては、十分な情報を得られていない可能性があり、場合によっては、素案を大きく修正する必要がある。

策定に当たっての留意点②

2 計画期間について

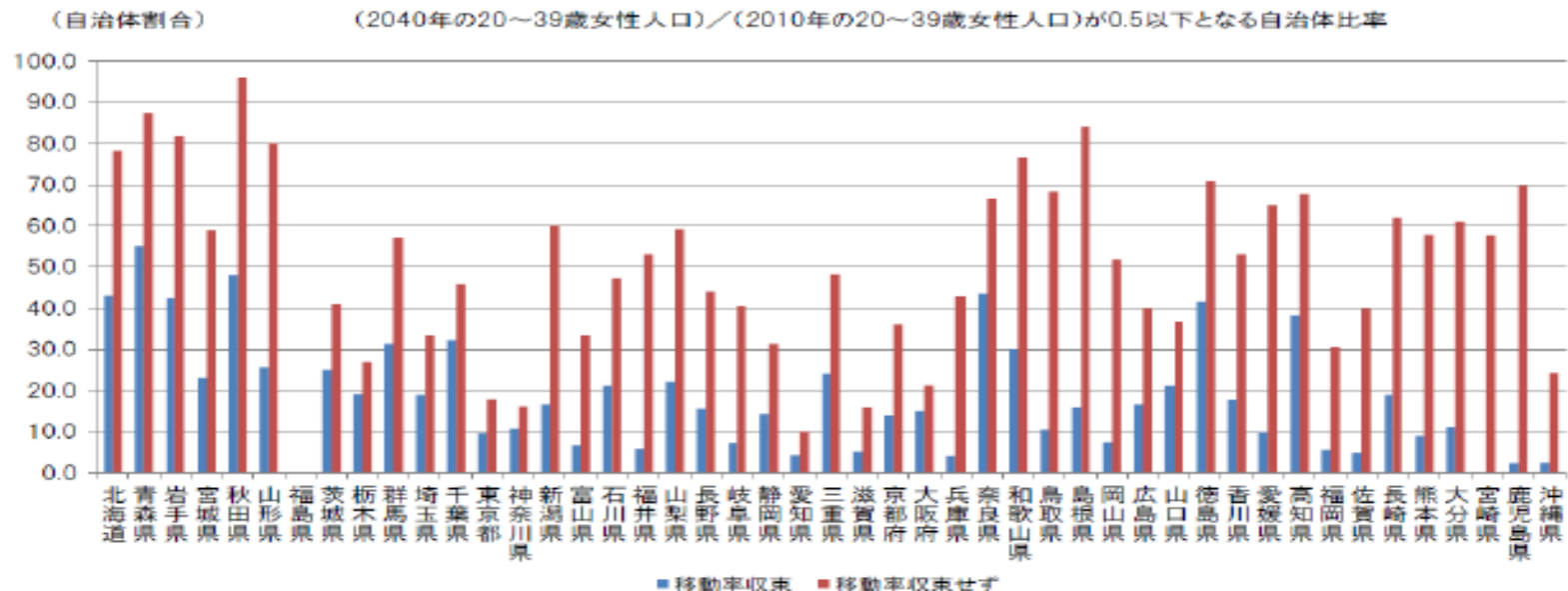
- ・国の基本計画の計画期間は5年間である。
第3次男女共同参画基本計画(H23～H27)
次期基本計画(H28～H32)
 - ・本市の計画は、総合計画との整合性から、現行計画では4年間としている。
第3次たかまつ男女共同参画プラン(H24～H27)
次期男女共同参画プラン(H28～H31)
- ⇒計画期間に違いがあることにより、国の基本計画に先行して計画を策定しなければならない場合がある。

策定に当たっての留意点③ー1

3 女性に関する現状と国の施策

20～39歳女性が半分以下になる自治体比率(2010～2040年)

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計を前提とした場合、20～39歳女性人口が2010年から2040年にかけて半分以下になる自治体比率は20.7%。
- さらに人口移動が収束しないとする仮定を置くと、20～39歳女性人口が2010年から2040年にかけて半分以下になる自治体数は49.8%。



(備考)国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」及びその関連データから作成

若者女性(20～39歳)人口変化率(2010→2040年)は、高松市の場合 -40.5%

策定に当たっての留意点③ー2

安倍政権の「日本再興戦略」改訂2014では、女性の活躍推進を掲げて、新たに次の施策を講じるとしており、この動きを見ながら市の独自色を打ち出すなど検討する。

① 子育て中の女性が働ける環境整備

- 学校の余裕教室等を徹底活用し、1万ヵ所以上の場所で、一体型の放課後児童クラブ・放課後子供教室を実施。
- 必要な保育士を確保するため、数値目標と期限を設定した「保育士確保プラン」を策定
- 育児経験豊富な主婦等を「子育て支援員(仮称)」として認定する、全国で通用する仕組みを導入

② 女性の登用を促進するための環境整備

- 有価証券報告書における役員の女性比率の記載を義務付け
- コーポレート・ガバナンスに関する報告書に、役員、管理職への女性登用状況や登用促進に向けた取組を記載するよう各金融商品取引所に要請

③ 女性の働き方に中立的な税・社会保障制度等への見直し

- 経済財政諮問会議で、いわゆる「103万円・130万円の壁」を含め、税、社会保障、配偶者手当等について2014年末までに総合的に検討。

イ 男女共同参画に関する市民生活意識調査・事業所実態調査・市民団体等実態調査について

1 調査種別(案)

(1) 市民生活意識調査

市内在住の20歳以上の市民から4、200人を無作為抽出し、34項目の質問で調査を実施する。

(2) 事業所実態調査

市内の事業所から1、000事業所を無作為抽出し、31項目の質問で調査を実施する。

(3) 市民団体等実態調査

次の団体に対し、12項目の質問で調査を実施する。

- ・市内の市民活動団体等から56団体
- ・市内のNPO法人(44団体を無作為抽出)
- ・香川県内の各種女性団体(25団体)
- ・高松市男女共同参画センター登録団体(106団体)

2 調査スケジュール(案)

- | | |
|---------------|------------|
| (1) 調査票発送準備 | 8月上旬 |
| (2) 調査回答期間 | 8月中旬～9月中旬 |
| (3) 調査結果集計・分析 | 9月中旬～10月下旬 |

3 調査項目(案)

別紙のとおり

市民生活意識調査(H26)

前回調査(H22)との変更点

(1) 新規に追加した項目

	調査項目	理由
①	防災の分野において男女共同参画を推進するための重要点	東日本大震災後、男女共同参画の視点からの防災への取組が重要となっているため
②	進路や職業を選択する際に、性別を意識したか	【内閣府調査(H24.10月)新規調査項目】 性別にとらわれない進路・職業選択に対する意識の醸成が重要となっているため
③	仕事と生活の調和が実現した社会について、4年前と比較してどう変化したか	【内閣府調査(H24.10月)新規調査項目】 男女共同参画社会を実現するためには、ワーク・ライフ・バランスの推進が重要となっているため

(2) 削除した項目

	調査項目	理由
①	出生数減少の理由を何と考えるか	子育てに関する調査項目に類似するものがあるため

事業所実態調査(H26) 前回調査(H22)との変更点

(1) 新規に追加した項目

	調査項目	理由
①	事業所に男女共同参画を推進する担当部署を設置又は専任の担当者の配置はあるか 担当部署を設置又は専任の担当者の配置していない場合、今後、設置又は配置する予定はあるか	市民団体等実態調査との整合性を図るため

(2) 削除した項目

	調査項目	理由
①	育児・介護休業制度を就業規則等に規定しているか	既に義務化されているため

第4次たかまつ男女共同参画プラン策定スケジュール

資料3

